

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	3. 防犯活動等事務費		
項	1. 総務管理費	細事業名	1. 自主防犯活動推進費		
目	21. 諸費	担当課・係	市民活動推進課	(執行課:)

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	352	要 求									352
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	水と緑に囲まれた、快適で安心して暮らせるまちづくり/安心して暮らせるまちづくり/警察等と連携し、地域の自主防						
	【犯罪発生情報提供に関する業務】	施策体系コード	02-04-01-10-10			事業番号	66-1		
	・関係機関と連携し市民生活の安全を確保するため、効果的な犯罪発生情報の提供を行います。	総事業費	1,565千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
	・空き家における犯罪の発生を予防するため、所有者等へ現況を通知するとともに対応を求めます。	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			353	353	353	253	253		

(事業実施に関する根拠法令)
 佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例
 佐倉市犯罪のない安心して暮らせるまちづくり条例施行規則

< 事業に関する説明 >

(事業の説明)	(事業の目的)	(事業の効果)
・自治会・町内会やその他の団体(PTA・ボランティア団体等)に対し、防犯資器材を貸し出すことにより、地域における防犯パトロールなどの自主防犯活動を支援する。 ・自治会・町内会等連合協議会に対し、防犯資器材を貸し出すことにより、広域的な自主防犯活動を支援する。	・身近な場所における犯罪の抑止には自治会・町内会等による自主防犯活動の重要性が指摘されている。地域における防犯パトロール等に対し、防犯資器材を貸し出すことにより犯罪の未然防止を図るとともに、地域住民の防犯意識の高揚を目的とする。 ・市民協働の観点からも防犯活動を通し、コミュニティ意識の醸成と地域コミュニティの活性化に資することを目的とする。	・自治会・町内会等の自主防犯活動を充実させ、地域による犯罪抑止や住民の防犯意識の高揚が図られる。 ・防犯活動を通じて、市民協働による地域コミュニティの見直しを図ることができる。 ・市内12地区ある自治会・町内会等連合協議会の自主防犯活動を支援することにより、より広域的な地域コミュニティ活動の活性化を図ることができる。
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)
・自主防犯活動を行う団体は増加しているが、活動が端緒についたばかりの団体も多いため、常に貸出し支援ができるよう在庫の充実、及び、活動方法等支援が必要。 ・自治会・町内会等連合協議会への防犯資器材の貸出数が限定されるなど、支援が不十分な場合がある。	・地域コミュニティに対する防犯活動の支援として、平成18年度より自治会・町内会等連合協議会に対し、防犯資器材(車両用ボディアネル・防犯啓発幕)の貸出しを行なっているが、数が不十分な地区や未支援地区もあるため、地域の要望を聴きながら、引き続き支援していく。 ・関係機関と連携し、より多くの団体が活動を展開できるよう支援する。	・地域の安全を確保するためには、行政や警察だけでは限界があり、地域における自主的な防犯活動が肝要となる。市として、自治会・町内会等、地域団体における自主防犯活動を支援(防犯資器材の貸出)するための経費を確保するものである。